

令和4年度自殺未遂者ケア研修「第1回かかりつけ医版」

プログラム

9:15～10:00	開場・入室
10:00～10:10	開会挨拶
司会:	大内 衆衛(厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター・自殺未遂者支援室長)
挨拶:	清水 康之(厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター・代表理事)
10:10～11:10	講義1～3 各20分
	「かかりつけ医等における精神疾患および自殺対策」
	大内 衆衛(厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター・自殺未遂者支援室長)
	「プライマリケア医の先生のための自殺予防の基礎知識」
	河西 千秋(札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授)
	「ハイリスク精神疾患患者のケア」
	大塚 耕太郎(岩手医科大学医学部神経精神科学講座・教授)
11:10～11:25	ワークショップオリエンテーション
	大塚 耕太郎(岩手医科大学医学部神経精神科学講座・教授)
11:25～12:25	休憩
12:25～	ワークショップ
司会:	河西 千秋(札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授)
	大塚 耕太郎(岩手医科大学医学部神経精神科学講座・教授)
12:25～13:55	ワークショップ Part1
13:55～14:15	休憩
14:15～15:45	ワークショップ Part2
15:45～16:00	確認テスト
16:00～16:10	閉会挨拶
挨拶:	清水 康之(厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター・代表理事)
16:10～16:30	アンケート
16:30～16:40	閉会

講師プロフィール

清水 康之

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター代表理事

NHK ディレクターとして「クローズアップ現代」で自死遺児たちの番組を制作したのをきっかけに、自殺対策の重要性を認識。2004年にNHKを退局し、NPO 法人自殺対策支援センターライフリンクを設立、代表に就任。2006年「自殺対策の法制化を求める3万人署名」を企画・展開し、自殺対策基本法制定に貢献した。2009年～2011年内閣府参与(自殺対策担当)、超党派「自殺対策を推進する議員の会(議連)」アドバイザーとして、2016年には自殺対策基本法の改正に関わる。共著に『「自殺社会」から「生き心地の良い社会へ』、『闇の中に光を見出す』など。

大内 衆衛

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター自殺未遂者支援室長、精神科医、精神保健判定医。専門領域は統合失調症を中心とした精神科の臨床全般および司法精神医学。2010年弘前大学医学部を卒業後、初期研修を経て2012年東大病院精神神経科に入局。同院での後期研修を経て、荏原病院、東京共済病院、初石病院などに勤務。2022年から現職。学生時代から自殺の問題に関与し、NPOなどと連携して活動した。近年は過労死・過労自殺に伴う労災認定の意見書の作成や精神鑑定などを精力的に行っている。

河西 千秋

札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授、精神科医

専門研究領域は、行動科学(精神薬理、自殺関連行動)、地域精神保健学(自殺対策、職域・高等教育機関におけるメンタルヘルス支援)。自殺対策については、救急医療部門を拠点とした自殺未遂者ケアに取り組み、自殺対策のための戦略研究・ACTION-J 研究事務局長として未遂者の自殺再企図防止方略を開発し、診療報酬に収載された(救急患者精神科継続支援料)。また、日本医療機能評価機構認定病院患者安全推進協議会とともに病院内の自殺予防と事後対応等に従事している。省庁、全国地方公共団体、学術・職能団体の自殺対策活動に協力し、2018年度からは、北海道別海町における地域自殺対策活動に注力している。日本自殺予防学会副理事長、日本うつ病学会理事、日本精神科救急学会理事、北海道自殺対策アドバイザー、札幌市自殺対策アドバイザーなど。

大塚 耕太郎

岩手医科大学医学部神経精神科学講座・教授

1997年岩手医科大学医学部卒業。2005年同科・講師、2012年同学部災害・地域精神医学講座・特命教授及び岩手県こころのケアセンター・副センター長、2016年より現職。日本精神科救急学会・理事、日本自殺予防学会・常務理事／事務局長、日本うつ病学会・理事等。専門領域は精神科救急、自殺対策、災害医療、地域精神保健等。

(敬称略)

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター 主催

令和4年度自殺未遂者ケア研修「第1回かかりつけ医版」

開催日時:9月25日(日) 10:00～16:40